

第170回幹事会議事要旨

日時 平成25年3月22日(金) 13:30~16:00

場所 日本学術会議5-C(1)(2)会議室

出席者 (会長) 大西 隆

(副会長) 武市 正人、小林 良彰、春日 文子

(第一部) 佐藤 学、大沢 真理

(第二部) 山本 正幸、生源寺 眞一、須田年生

(第三部) 家 泰弘、荒川 泰彦、巽 和行、土井 美和子

(事務局長) 齋藤 敦

(事務局次長) 飯島 信也

(課長等) 渡邊 清、上平 春樹、中澤 貴生、石原 祐志、佐藤 正一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 前回の幹事会以降の諸報告事項について確認が行われた。
- 3 以下の公開審議が行われた。
 - (1) IT環境整備推進委員会運営要綱を廃止することを決定した。
 - (2) 原子力利用の将来像についての検討委員会における分科会委員(原子力学の将来検討分科会)を決定した。
 - (3) 分野別委員会運営要綱の一部改正(新規設置20分科会、設置期間の延長3分科会、廃止1分科会)及び委員会等委員(2委員会、20分科会)を決定した。

○新規設置

- ・基礎生物学委員会基礎生物学分野の大型研究計画評価分科会
- ・統合生物学委員会統合生物学分野の大型研究計画評価分科会
- ・農学委員会農学分野の大型研究計画評価分科会
- ・食料科学委員会食料科学分野の大型研究計画評価分科会
- ・基礎医学委員会基礎医学分野の大型研究計画評価分科会
- ・臨床医学委員会臨床医学分野の大型研究計画評価分科会
- ・健康・生活科学委員会健康・生活科学分野の大型研究計画評価分科会
- ・歯学委員会歯学分野の大型研究計画評価分科会
- ・薬学委員会薬学分野の大型研究計画評価分科会
- ・環境学委員会環境学分野の大型研究計画評価分科会
- ・数理科学委員会数理科学分野の大型研究計画評価分科会
- ・物理学委員会物理学分野の大型研究計画評価分科会
- ・地球惑星科学委員会地球惑星科学分野の大型研究計画評価分科会
- ・情報学委員会情報学分野の大型研究計画評価分科会
- ・化学委員会化学分野の大型研究計画評価分科会

- ・総合工学委員会総合工学分野の大型研究計画評価分科会
- ・機械工学委員会機械工学分野の大型研究計画評価分科会
- ・電気電子工学委員会電気電子工学分野の大型研究計画評価分科会
- ・土木工学・建築学委員会土木工学・建築学分野の大型研究計画評価分科会
- ・材料工学委員会材料工学分野の大型研究計画評価分科会

○設置期間の延長

- ・基礎医学委員会病原体研究に関するデュアルユース問題分科会
- ・数理学委員会数理学分野の参照基準検討分科会
- ・機械工学委員会機械工学分野の参照基準検討分科会

○廃止

- ・臨床医学委員会医師の専門職自律に関する分科会

(4) 部が直接統括する分野別委員会合同分科会の名称変更について、取り下げとなった。

(5) 提言「東日本大震災に係る学術調査一課題と今後について」について東日本大震災に係る学術調査検討委員会委員長の岩澤康裕委員長より説明があり、審議の結果、所要の修文を条件に承認された。

(6) 平成 27 年度共同主催国際会議候補及び保留会議を決定した。

(7) 平成 25 年度代表派遣の(1)代表派遣実施計画及び(2)実施計画に基づく 4-6 月期の会議派遣者について、一部資料を修正した上で決定となった。

(8) 第 13 回アジア学術会議 (13th Science Council of Asia Conference) への会員等の派遣及び外国人の招聘を決定した。

(9) STS フォーラム評議員会に会員を派遣することを決定した。

(10) 第 15 回 ICSU アジア・太平洋地域委員会会合に会員を派遣することを決定した。

(11) 第 2 回 ICSU Scientific Committee Programme on Urban Health and Wellbeing に会員を派遣することを決定した。

(12) 4 件のシンポジウム等の開催、2 件の国際会議及び 3 件の国内会議の後援を承認した。

4 その他事項として、今後の幹事会開催日程について確認が行われた。

5 以下の非公開審議が行われた。

(1) 原子力利用の将来像についての検討委員会における分科会委員（特任連携会員）を決定した。

(2) 分野別委員会における分科会委員（特任連携会員）及び小委員会委員を決定した。

特段の事情を考慮し、以下の分科会に、複数名の特任連携会員が任命された。

・基礎生物学委員会・統合生物学委員会・基礎医学委員会合同遺伝資源分科会

(会員・連携会員の中では、農業生物資源、ヒト由来試料、産業微生物の遺伝資源事業の分野で国際的に活躍している人材等の確保が難しいため。)

・農学委員会土壌科学分科会

(東日本大震災の津波による土壌の塩類化、福島第一原発事故に伴う放射性セシウムによる土壌汚染に両面的に取り組む観点から、三陸地域、福島でそれ

ぞれ主導的役割を果たしている土壌科学者の参画が不可欠であるため。)

・食料科学委員会水産学分科会

(大震災・原発事故後の水産業の復旧・復興問題の審議には、水産業・漁村の立場からの地域振興及び海産物の放射能調査に長く携わってきた専門家の参画がそれぞれ不可欠であるため。)

・健康・生活科学委員会・環境学委員会合同環境リスク分科会

(分科会の取扱い範囲が広く、また、東日本大震災への対応の必要という緊急性がある中、廃棄物の専門家、及び有害化学物質の影響の専門家で、かつ、既に現地において活動をしている人材が不可欠であるため。)

・数理科学委員会数理科学分野の参照基準検討分科会

(参照基準の審議にあたって、数学教育の専門家と、リテラシーの概念に詳しい数学基礎理論の専門家、合わせて委員2名の参画が必要であるため。)

・機械工学委員会 機械工学分野の参照基準検討分科会

(参照基準の審議にあたって、様々な年代及び多様な視点からの意見を総合する観点から、委員2名が必要であるため。)

(3) 平成25年度代表派遣4-6月期の会議派遣者に関連し、国際業務に参画するための特任連携会員を決定した。

(4) 外部委員候補者を推薦することを決定した。

6 非公開のその他事項として、小林良彰副会長から第22期1年目の外部評価について報告があった。また、第164回総会の次第及び報告事項等について確認が行われた。